

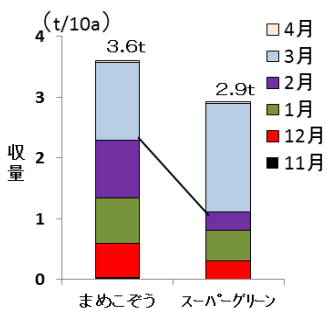
## 実エンドウ

本県育成品種

おいしさ抜群

## まめこぞう

園芸作物部



### 特性

- 早期多収で良食味
- 莢が大きく青実が綺麗

### 栽培ポイント

◆スーパーグリーンに比べて肥大が早いので、収穫遅れに注意

### 適応地域

指宿地域: 9月下まき 11~3月どり  
出水地域: 10月下まき 3~4月どり

## 早春型におけるバレイショそうか病の発生程度と種いも消毒の重要性

生産環境部



無病徴汚染いも



次作で激発!

そうか病発生ほ場からの種いもは、無病徴でも汚染されている

種いも消毒重要!

### 栽培ポイント

- バレイショそうか病の伝染源は土壌より、種いもが深刻
- 圃場内のそうか病罹病いもは必ず圃場外へ持ち出し、処分
- 自家採種種いも(早春型)は、無病徴のいもでも、消毒を徹底することで発病度の低減が可能
- 種いも消毒と罹病いもを除去し、種いも消毒を徹底し、バレイショそうか病を回避!

### 適応地域

青果用バレイショ産地

## 加工・業務用ダイコン

### 作型別適品種を用いた長期安定生産

大隅支場

作型	適品種名	8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月	
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
夏まき 秋初冬どり	夏みどり8号, YR夏みのり 夏の翼	●																			
	夏みどり8号, YR夏みのり 夏の守																				
	献夏37号, YR郷ひびき MRX-101, 夏天下	●																			
秋まき 冬どり	夏みどり8号, YR夏みのり 夏の翼																				
	献夏37号 YR郷ひびき, MRX-101																				
	市の宮, 秋神楽																				
秋冬まき 春どり	市の宮, YR春の浦 C3-295																				
	市の宮, YR春の浦 春宴																				
	春宴, 初神楽																				
	春宴, 初神楽 春神楽, 桜の砦 春宴, 蒼の砦 晩々G																				

### メリット

- 病害減少, 商品化率向上
- 加工歩留まり向上



☆尻詰まりが良い  
☆おでん取得個数が多い

- 加工品質向上
- ☆加熱後に煮崩れない
- ☆つまの張りが良い
- ☆青首が少なく, 変色しにくい

農家の所得向上

### 適応地域

県本土全域



# 最新技術

省力化

## 春カボチャ

### 不織布トンネルによるカボチャの省力栽培法

#### 技術のポイント



不織布トンネル栽培  
※スーパーパスライトを使用

- ◆トンネル換気は不要
- ◆従来のPOトンネルと比べて収穫は3日程度遅いが、収量は同等
- ◆不織布栽培では移植栽培とする(直播き栽培では欠株発生の危険)

適応地域 3月の平均気温が12℃以上の地域

省力化

## カボチャ

### 粘着テープによるカボチャの日焼け防止法

#### 技術のポイント



適応地域 県内全域

- ◆果実上面に粘着テープを貼付するだけで作業は容易
- ◆作業時間は8時間/10a程度(新聞紙被覆の40%程度)
- ◆資材費は10a当たり2,000円程度で低コスト
- ◆豪雨でも破けず効果は安定

## キャベツ根こぶ病は低温期に定植する作型では発生が少ない

病理昆虫部

### 定植後の発病度と平均温度(H27)

定植月日	供試品種	発病度	現地ほ場		アメダス 気温(℃)
			地温(℃)	気温(℃)	
9月24日	金春	64.4	23.9	22.8	22.8
10月7日	金春	56.6	20.6	19.6	19.3
10月14日	金春	73.1	21.1	20.8	20.1
10月26日	金春	72.8	18.6	18.2	18.2
11月6日	金春	71.3	19.5	19.8	20.0
11月25日	かんろく	8.4	14.1	12.4	12.8
12月16日	かんろく	0	12.0	10.8	11.1
1月12日	かんろく	0	8.1	6.1	6.8



#### 技術ポイント

- 11月下旬定植の作型では根こぶ病の発病度は著しく低くなり、12月中旬、1月中旬の定植では発病が認められない
- 定植後14日間の平均気温が12℃以下の作型では、キャベツ根こぶ病の発生が大きく減少する。

適応地域 県内全域

## ダイコンのキスジノミハムシ防除が可能な同時工程播種機

大隅支場



キスジノミハムシ被害状況

畝立・播種・施肥・施薬同時作業

#### 技術ポイント

- シードテープの種子位置を検知し、発芽穴を開ける
- 深さ3~6cmにプリロソノ粒剤を帯状に同時施薬することで、キスジノミハムシ幼虫による生育初期の被害を軽減できる
- 畝立・播種・施肥・施薬同時工程の一連の作業は1時間/10a程度で可能

適応地域

大規模畑作地域

## ピーマンにおけるIPM技術(待ち伏せ型防除)と露地作物への応用

生産環境部

### アブラムシ



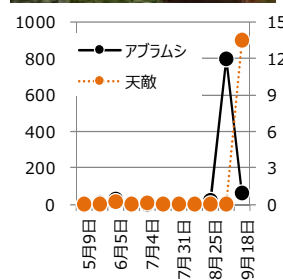
### 天敵(寄生蜂)



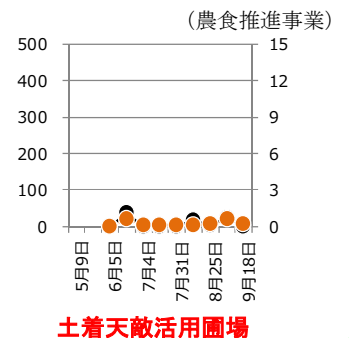
### 天敵を待ち伏せさせる「バンカー法」を確立

- ムギ等の代替植物とそれに寄生する虫(餌)を利用して天敵の住処(増殖場所)を確保し、施設内に天敵を常時定着させる

### 露地作物への展開



- 地域の土着天敵に餌や蜜源を供給する「天敵温存植物」を用い、天敵の来遅れを回避
- 土着天敵を防除に活用するモデルをオクラで確立



【お問い合わせ先】 農業開発総合センター企画調整部(TEL099-245-1119)  
最寄りの支庁・地域振興局の普及担当課(農政普及課など)